

1 4. ワーク&ライフサポート（生活面での支援）

1 4-1. 附属病院による女性教職員のための妊婦健診支援など

女性は約 8 ヶ月の妊娠中、たとえ経過が順調であっても計 15 回程度の妊婦検診を受けなければならず、その都度、遠方の病院に受診に行くことの負担は大きい。そこで、大阪大学医学部附属病院の産科婦人科は、平成 20 年 7 月より学内の教職員を対象とした妊婦健診支援事業を開始した。

事業の目的は、本学の女性教職員がキャンパス内で妊婦健診を予約して受けられることにより、健診および通院のためにかかる時間を節約し、ワーク・ライフ・バランスの実現を支援することである。また、出産は、医学部附属病院でもいわゆる里帰り出産でも可能とした。

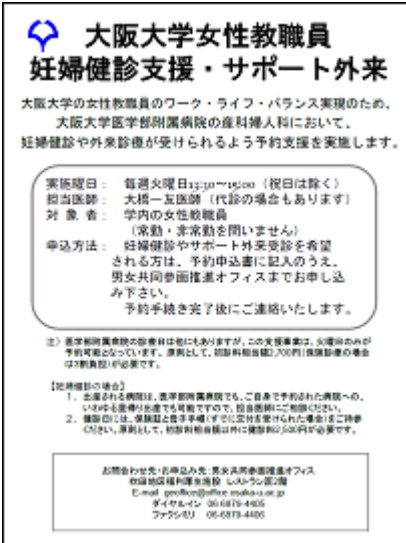
女性研究者キャリア・デザインラボでは、希望者の予約申込を受け付け、医学部附属病院保健医療福祉ネットワーク部と連携して予約業務を行っている。多様な人材活用推進委員会と保育園のホームページおよび学内ポータルサイトに掲載し、また下記のようなポスターを掲示し周知を図った。なお、平成 22 年度以降は、女性研究者キャリア・デザインラボの後継組織である男女共同参画推進オフィスが業務を行っている。

実施曜日：毎週火曜日 13:30～15:00（祝日は除く）

対象者：学内の女性教職員（常勤・非常勤を問わない）

平成 20 年度は 5 名、平成 21 年度は 4 名、平成 22 年度は 5 名、平成 23 年度は 3 月現在で 4 名の利用があった。

なお、産科婦人科の協力を得て、妊婦健診のみならず、産後の体調不良等も視野に入れた、より広範な「女性研究者サポート外来」体制を整備した。



**大阪大学女性教職員
妊婦健診支援・サポート外来**

大阪大学の女性教職員のワーク・ライフ・バランス実現のため、
大阪大学医学部附属病院の産科婦人科において、
妊婦健診や外来診療が受けられるよう予約支援を実施します。

実施曜日： 毎週火曜日 13:30～15:00（祝日は除く）
担当医師： 大橋一五医師（代診の場合もあります）
対 象 者： 学内の女性教職員
（常勤・非常勤を問いません）
申込方法： 妊婦健診やサポート外来受診を希望
される方は、予約申込書に記入のうえ、
男女共同参画推進オフィスまでお申し込み
下さい。
予約手続き完了後にご連絡いたします。

注）産科婦人科の診療科目は他にもありますが、この支援事業は、火曜日のみが
予約可能となります。原則として、初診料相当額 2,000 円（保険診療の場合は
保険負担分）が必要です。

【妊婦健診で注意】

1. 本学に所属する教職員は、産科婦人科でも、ご自身で予約された病院への、
いかなる産婦科でも受診可能ですので、産科婦人科にご相談ください。
2. 健診日には、産婦科と妊婦サポート（すでに交付を受けた場合）のご持参
が必要です。原則として、初診料相当額 2,000 円（保険診療の場合は
保険負担分）が必要です。

お問い合わせ先・お申し込み先：男女共同参画推進オフィス
産科婦人科産科支援室 しみずのり子
E-mail: yoneda@office.muh.uo.ac.jp
ダイヤルイン 06-6879-4465
ファックス 06-6879-4466

また、男女共同参画推進オフィスでは、平成 22 年度より電動さく乳器のレンタルを開始した。平成 22 年度は 3 名、平成 23 年度は 3 月現在で 3 名の利用があった。

大塚大学に在籍する女性教職員の皆様にお届け

電動さく乳器のレンタルを始めました。

母乳は赤ちゃんにとって理想的な栄養源です、母乳を授乳する
→ 月の間に赤ちゃんが必要とするすべての栄養素を授乳、赤ちゃんの健康な成長を助けます。



男女共同参画推進オフィスでは、母乳で育てたい
お母さんのために、電動さく乳器のレンタルを開始しました。



medela 社製 Symphony をレンタル致します。
電動さく乳器貸出申請書に記入の上、お申し込みください。



お申し込み・お問い合せは
男女共同参画推進オフィス
TEL 03-5872-5405
内線 5473
受付 受付

1 4－2．学内保育園の整備

第Ⅰ章に記したとおり、学内保育園は大阪大学が中ノ島から現在の場所に移ったところから存在し、自主運営ではあるが約 40 年の長い歴史がある。その保育理念を継承して、自主運営から大学運営に切り替えたのが、本プロジェクト中の大きな成果である。運営形態の変更と同時に、建物の新築・改築、総定員の増員（44 名から 99 名）、保育年齢の引き上げ、体調不調児対応などを実現した。

平成 20 年 4 月大阪大学運営として吹田地区に開園した「たけのこ保育園」は、建物を新築した。続いて「まきば保育園」の建物を改修した。まきば保育園では 0～2 歳児クラス、たけのこ保育園では 0～5 歳児クラスまで受け入れ、両園とも早朝保育（7：30～8：00）、延長保育（18：00～20：00）、休日保育（土曜日、8：00～18：00）を実施した。さらに、看護師の常駐により体調不調児の保育に備えると共に、栄養士を配置して独自の献立立案に基づいた給食提供を実施している。

さらに、平成 20 年 5 月に保育園に関する専用ホームページを開設した。ホームページには、総長メッセージ、運営理念・保育理念、保育基本方針、保育施設規程、保育園概要、年間行事予定、申込方法、保護者の声、保育園 Q&A などを掲載すると同時に、入園申し込みをホームページから受け付けるようにした。ボランティア募集も行っている。

(<http://www.hoikuen.osaka-u.ac.jp/index.html>)

開園 2 年後の平成 21 年度末には、当初想定した人数より在園継続を希望する者が多いことが分かり、従来のクラス体制ではやがて保育室が不足し、運営困難な状況となる恐れが出てきた。そのため、平成 23 年度からは 0、1 歳児クラスをまきば保育園に、2～5 歳児クラスをたけのこ保育園に集約し、定員を 99 名から 125 名に増やして運営している。これら 2 施設の園児定員・職員構成（平成 23 年度）は以下の通りである。

- ・「まきば保育園」園児定員

0 歳児：25 名、1 歳児：20 名

- ・「たけのこ保育園」園児定員

2 歳児：20 名、3 歳児：20 名、4 歳児：20 名、5 歳児：20 名

- ・「たけのこ保育園」職員構成

園長、主任、保育士、栄養士、調理師、看護師、事務職員

- ・「まきば保育園」職員構成

園長、主任、保育士（調理師、看護師、事務職員はたけのこ保育園と兼任）



「たけのこ保育園」



「まきば保育園」



「まちかね保育園」(イメージ図)

また、園児の健康を管理するために、医学部附属病院及び歯学部附属病院との連携により、年2回の健康診断と年1回の歯科健診を実施している。これらに加えて、園児の心身の発達について保護者が日常心配なことを相談でき、専門医（医学部教授）からアドバイスを受けられる「すくすく相談会」を2,3ヶ月に1度の頻度で実施している。この会では、母親が、子供の発達状況について気になる点を専門医に説明し、園児のクラス担任と園長が保育園において感じていることをそれに加えることにより、要点を具体化して意見交換・相談を行っている。

1 4－3．保育園ボランティア制度の発足

学内保育園では、本学学生による保育園ボランティアの募集を 2009 年 10 月よりホームページ上で開始した。活動内容は散歩の付き添い、園内での遊び相手、各種行事（七夕まつり、運動会、クリスマス会等）の準備と参加、園内の環境美化などである。

これまでに、医学部及び歯学部学生の合奏サークル 12 名及び人間科学部学生 2 名からボランティアの申し込みがあった。合奏サークルの学生達は平成 21 年以降のクリスマスの日、たけのこ保育園でその日にちなんだ音楽のミニコンサートを行っている。また、人間科学部学生は各々が平成 23 年度に週 1 回（講義の無い時間帯に）園児達の遊び相手として活動している。今後、ますますボランティア希望学生が増えることを期待している。

1 4－4．女性研究者キャリア・デザインラボによる各種相談受付

女性研究者キャリア・デザインラボでは、研究支援員制度利用者やコミュニティ☆ラボ会員などを通して、いろいろな相談にのるように窓口を開いた。

これまでに、女性研究者支援員制度の利用者から、研究室内のパワーハラスメントに関する相談 1 件、保育所に関する相談 1 件、育休代替要員に関する相談 1 件、育児休業後の復帰に関する相談が 1 件あった。